

季節がめぐり、生命がめぐる。

自然と暮らす写真のまなざし



今森光彦

酒田市美術館・土門拳記念館共同企画

2021 5/22(土) - 7/10(土)

2館の会期が異なりますのでご注意ください

主催／酒田市美術館・土門拳記念館 共催／酒田市、酒田市教育委員会
協力／有限会社オーレリアンガーデン 企画協力／クレヴィス

お願い

ご来館の際は、マスクの着用、手指の消毒、他の来館者との適切な距離の確保にご協力ください。また、状況により展覧会に変更が生じる場合がございます。最新情報は、HPやFacebookでご確認ください。

開館時間 9:00～17:00(入館は16:30まで)

休館日 会期中無休

観覧料 一般：900円(700円)、高校生：450円(350円)

中学生以下：無料()内は20名以上の団体料金

※大学生・専門学生は一般料金となります。

※障害者手帳をお持ちの方、およびその介助者1人の観覧料は、半額となります。

★酒田市美術館の当日有料の半券チケット又は年間券を提示すると、100円引きとなります(招待券、優待券は対象の適用外です)

年間券(1年間有効) 随時受付、特典あり
普通年間券(3名まで入館可) 3,000円
特別年間券(10名まで入館可) 15,000円

土門拳記念館
Ken Domon Museum of Photography

〒998-0055 山形県酒田市飯森山2-13(飯森山公園内)
TEL 0234-31-0028
<http://www.domonken-kinenkan.jp/>



今森光彦

自然と暮らす切り紙の世界



バンサー・カレン・ボン・キョウ・デューム ©Mitsuhiko Imamori

酒田市美術館・土門拳記念館共同企画

2021 5/22(土) - 7/9(金)

2館の会期が異なりますのでご注意ください

主催／酒田市美術館・土門拳記念館 共催／酒田市、酒田市教育委員会
協力／有限会社オーレリアンガーデン 企画協力／クレヴィス

お願い

ご来館の際は、マスクの着用、手指の消毒、他の来館者との適切な距離の確保にご協力ください。また、状況により展覧会に変更が生じる場合がございます。最新情報は、HPやFacebookでご確認ください。

開館時間 9:00～17:00(入館は16:30まで)

休館日 会期中無休

観覧料 一般：900円(800円)、高校生：450円(400円)

中学生以下：無料()内は20名以上の団体料金

※大学生・専門学生は一般料金となります。

※障害者手帳をお持ちの方、およびその介助者1人の観覧料は、半額となります。

★土門拳記念館の当日有料の半券チケット又は年間券を提示すると、100円引きとなります(招待券、優待券は対象の適用外です)

年間券(1年間有効) 随時受付
普通年間券(3名まで入館可) 3,300円
特別年間券(10名まで入館可) 16,500円



Sakata City Museum of Art
酒田市美術館

〒998-0055 山形県酒田市飯森山三丁目17-95
TEL 0234-31-0095
[URL http://www.sakata-art-museum.jp](http://www.sakata-art-museum.jp)



里山にとってたいせつなことは、「みんなで生きている」ということだ。

今森光彦 自然と暮らす切り紙の世界

幼い頃から“生きもの少年”として昆虫採集や魚採りに熱中し、現在も、里山で田んぼや雑木林の手入れをしながら暮らす今森光彦さん。

人と自然が見事に共生する「里山」をテーマに独自の取材を続けており、2009年には第28回土門拳賞を受賞するなど、酒田市に所縁ある写真家です。また、今森さんは、蝶や鳥、植物をモチーフに、精緻で生き生きとした作品をつくる切り絵作家としても知られています。深い洞察力により、たった一本のはさみから生み出される作品には、植物の鮮やかさや昆虫の力強さが表現されています。

本展覧会は、酒田市美術館と土門拳記念館の共同企画展となります。

酒田市美術館では、蝶々やカブトムシなどの昆虫をはじめ、今森さんの里山に棲む様々な生き物たちや植物、世界中を旅して出会った動物たちのシリーズなど、魅力あふれる切り紙の世界を紹介します。

土門拳記念館では、四季折々のオーレリアンの庭の写真を中心に、今森さんの里山での暮らしの様子を紹介し、また、第28回土門拳賞受賞作品『昆虫4億年の旅』のなかから、『メダマカレハカマキリ』や『ハラビロカマキリ』などの昆虫写真と、立体切り紙作品を同時展示します。

切り紙や写真といった角度から生き物たちの魅力を表現する今森さんの作品をどうぞお楽しみください。



自然と暮らす写真のまなざし

オーレリアンの庭とは？

「オーレリアンの庭」とは、今森さんが長い時間をかけてアトリエの敷地内に作り上げた、生きものが集まる庭のことです。オーレリアンとは、蝶を愛する人々のことを指します。蝶は幼虫時代、種類によって違う葉を食べています。現在70種類の蝶が生息するこの庭は、植物が豊かな証、つまり多様な生き物が暮らせる環境ということになります。今森さんは今日もオーレリアンの庭で、植物の世話をしたり、四季折々の写真を撮ったり、そして切り紙作りにいそしむ日々を送っています。



オーレリアンの庭



今森 光彦 (いもり みつひこ)

1954年滋賀県大津市生まれ。幼少期から身の周りの自然に興味を持ち、小川や田んぼで昆虫採集や魚採りに熱中する。大学卒業後、独学で写真技術を学び1980年よりフリーランスの写真家となる。以後、琵琶湖を望む田園にアトリエを構え、自然と人との関わりを「里山」という概念で追う一方、熱帯雨林から砂漠まで世界各国を訪ね、生物の生態を追求し取材し続ける。第20回木村伊兵衛写真賞、第28回土門拳賞など受賞多数。

土門拳記念館展示情報

総展点数
54点

展示作品 (第28回土門拳賞受賞作品『昆虫4億年の旅』)



スカラベ



ハラビロカマキリ



メダマカレハカマキリ



立体作品



立体作品



立体作品



関連企画

今森光彦 トークイベント

日時：5月23日(日) 14:00～
定員：20名
参加費：無料(要入館券または年間券)
申込み：5月7日(金) 10:00～電話にて受付(☎0234-31-0028)
会場：土門拳記念館

今森光彦展 オリジナルグッズ

(土門拳記念館で販売)



① ブロックメモ
《昆虫採集》
495円(税込)



② ブロックメモ
《歳時記・風物詩》
495円(税込)



③ 角型マグネット
《ウラモジテハとカカオ》
550円(税込)

酒田市美術館展示情報

総展点数
135点

展示作品



キマダラセセリとヒマワリ



タテハモドキ



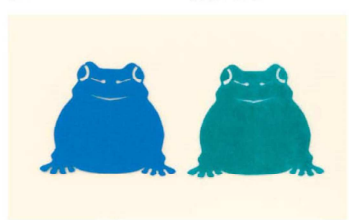
走るワシミズク



カバ



ラケットハチドリ



アマガエル

関連企画

今森光彦 切り紙ワークショップ

日時：5月22日(土) ①11:00～ ②14:00～
定員：各15名(小学生以上～大人まで) ※小学生は保護者同伴必須
持ち物：作りたい生き物があれば図鑑や写真など
参加費：500円(税込) 会場：酒田市美術館 市民ギャラリー
申込み：5月7日(金) 9:00～ 酒田市美術館電話にて受付(☎0234-31-0095)

今森光彦展 オリジナルグッズ

(酒田市美術館で販売)



① ディナープレート(大皿)
《ヤシオウムとユーカリ》
6,600円(税込)



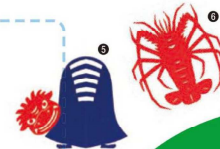
② カップ&ソーサー
《ウラモジテハ》
3,300円(税込)



③ クッションカバー
《ハチドリとトケイソウ》
3,520円(税込)



④ 型紙セット「魔法のはさみ」
《虫》、《生きもの》
各550円(税込)



交通のご案内



- ◆ JR東日本酒田駅 / 集合バス：酒田市美術館20分、土門拳記念館16分 / タクシー：10分
- ◆ 庄内空港 / タクシー：20分
- ◆ 日本海東北自動車道 酒田ICより6分
- ◆ 駐車場：無料駐車場有 酒田市美術館：120台収容 土門拳記念館：普通車136台、大型車9台収容